

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		坂井市社会福祉協議会 希望園 放課後等デイサービス					公表日 令和7年2月14日	
		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			・部屋の凹凸とパーテーションを利用して、個別スペースを設置している。 ・必要に応じて、廊下の広い空間を利用している。	・通常の活動であれば充分だが、広いスペースを使う運動ではやや手狭である。 ・活動内容や利用児童の状態に応じて、支援するスペースはあるが、それぞれの場所の距離が遠い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6			定員10名に対し、常時4名の職員が対応。手厚い支援が可能だと思う。	職員が送迎業務に入る時間帯は、玄関対応等の職員の手が足りない時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			日々の清掃や適切な箇所に消毒液の配置が出来ていると思う。	施設内の他事業とと併用するスペースもあるため、調整と工夫が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				施設内の他事業とと併用するスペースもあるため、調整と工夫が必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			パーテーションやジョイントマットを使用して児童が個別で過ごせる場所を提供している。	・施設内の他事業とと併用するスペースもあるため、調整と工夫が必要。 ・スヌーズレンが個別で遊ぶ場所になってしまい、不穏な児童のクールダウンの場が近くにない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				・評価表を通した、保護者のご意見や希望は、サービス満足度向上のための、貴重な情報であり、職員のモチベーションにも繋がっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			第三者委員会等は設置していないが、積極的に地域のボランティアを受け入れ、評価やご意見を頂き業務改善に繋げている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			法人内での研修開催以外に、LINEWORKSの掲示板等にて、研修情報の提供を行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				R7年2月中旬に公表の予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	6					
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			支援記録や日々の支援振り返り、児童の課題共有を行い、計画（案）を作成している。	職員が積極的に計画作成に関われる場を、定期的に設けていく。	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			個別ファイルに個別支援計画を綴り、職員が個別支援計画の確認を出来るようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6					
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	6					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6					

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			年間行事計画と毎月の活動予定表を作成し、計画に沿って4つの基本活動が提供している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			おやつを選定、自由時間のDVDや玩具等の視覚化を行い誰にもわかりやすく、選ぶ楽しみを体験しながら、自己選択の力を伸ばしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		相談支援専門員や保護者に、移行支援会議開催の際は、参加させて欲しいと依頼している。	・今年度は対象児童がいない。 ・移行支援会議の参加対象として、放デイを含む、就労先以外の福祉サービス関係機関が含まれていないため、声が掛からないことが多い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			こぶし園 子ども発達支援センターの担当者より、環境整備や支援方法についてのアドバイスを受け、実践している。	・職員にむけて、兄弟支援及び家族支援のやり方や支援について、研修の場が必要。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		希望園50周年祭において、地域の学生ボランティアと児童の交流の場を設けた。	・以前より、放課後等児童クラブとの交流のための、地域連携が進んでいない。継続して場を設けることが出来るよう検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		家族向けの研修や家族で参加できるイベントの広告を配布および施設玄関口に掲示及び設置している。	保護者面談の際に、保護者同士で情報交換できる場をもっと作って欲しいとのニーズがあったため、検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			長期休暇の際に、各児童と面談を行うなどして、利用児童のニーズや思いの聴き取りを行い、保護者にも共有している。	
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	6				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6				保護者評価シートの記載方法も同様であるが、保護者への支援ときょうだいへの支援についての間が混在しているため、次回は質問を分けた方が良い。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6				
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6				R6.6月に安全計画について職員と共有したが、中途採用の職員への説明が不足していたため実施する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6				今後、社協HPで公表する等の方法で、保護者にも周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	6			現在、対象児童は存在しないが、必要時には左記の手順にて進め、個別支援計画に記載します。	